



⑤

を高めるにはどうしたらいいのでしょうか。それは、知識や情報を正確に「知る」ことよりも、「なぜだろう」とか「自分でしたい」という感性を高めていく練習が重要だと思うのです。では、感性を

The Fourth Year

みなさんこんにちは。今年(ことし)は災害級の暑さという表現(ひょうげん)が広がる夏になりました。みなさん、体調(たいじょう)はいかがでしょうか。

さて、今日は「主体性(せいせい)について考えてみたい」と思います。主体性(せいせい)は自ら行動(こうどう)し、その行動(こうどう)を継続(けいこう)していく力(ちから)と定義(ていぎ)してみたいと思います。では、主体性(せいせい)

高めるにはどうしたらいいのでしょうか。そのヒントは、小さな子どもたちを観察(くわんさつ)していた時に気づきました。それは、大人(おとな)が見逃(みのが)してしまつような微細(みこほ)なものに気がつく力を、子どもたちは持っているという気づきです。例えば、ダングムシを見つけてずっと観察(くわんさつ)していたり、セミの抜け殻(ぬけがら)を必死(ひつし)に集めたりする姿(すがた)を見ると、主体性(せいせい)が高く、行動力(こうどうりき)に溢(あふ)れていると感(かん)じます。大人(おとな)としては、この感(かん)覚(かく)を高く持ち続けることで、「なぜだろう」と、課題(かくだい)の根本原因(こんぽんげんいん)に向き合う姿勢(しせい)や、「現状(げんじょう)を自分(じぶん)が変化(へんか)させていきたい」という主体的(してい)な気持(きもち)が醸成(じょうせい)されるのではないかと思(おも)ったのです。そのため(ため)には、子ども(こども)たちの感性(かんせい)に触(ふ)れ、

自分の本来(ほんらい)の感性(かんせい)を取り戻(もど)すことが必要(ひつよう)なのかもしれません。仏教(ぶつこう)の基本的(きほんてき)な人間観(にんげんくわん)の一つ(ひとつ)に、「心性(しんせい)本浄(ほんじょう)」という教え(けがみ)があります。人間の本来(ほんらい)の心(こころ)は、仏さま(ぶつ)のように「美しい心(こころ)」を持(も)っています。日々(ひび)の中で少しづつ汚(よ)れていく心(こころ)を元(もと)に戻(もど)すためには、子ども(こども)たちの存在(そんざい)が必要(ひつよう)だと思(おも)ったのです。

そこで、今回は、編集学生(へんしゅうせい)たちの日常(にじやう)の中(なか)にある気づきや発見(はっけん)から、SDGsや仏教(ぶつこう)の教え(けがみ)につなが(なご)ると思(おも)える内容(ないよう)について紹介(しょうかい)してもらいました。編集学生(へんしゅうせい)の日々(ひび)の気づきから、私も感性(かんせい)を改めて高(たか)めていきたいという自戒(じけい)を込(こ)めて、編集(へんしゅう)いたしました。(山藤(やまどう))





○るいな
・高校2年生

私は最近「白山麓を走った鉄道金名線」という本を読みました。この本には、私の学校のある石川県白山麓地域で一九八七年までの六十年間走っていた金名線の歴史や人々の記録が詳しく書かれています。白山を経由した金沢名古屋間開通の夢も虚しく数々の困難により鉄道が廃止され、またその記憶も薄まる様子を見て、時代の變化の凄まじさと寂しさを感じました。しかし現在、鉄道が通った道は人気のサイクリングロードとして整備されていたり、実現しなかった白山と岐阜県をつなぐ鉄道敷



○さとし
・高校1年生

設ルートは自動車の白山白川郷ホワイトロードにそのまま活用されたりと、現在では全国有数の山岳観光道路となつています。これから私は、金名線は完全に無くなったのではなく、ただ時間の流れにより形を変えたのだと気づきました。近年、様々な変化により失われる物事は多いように感じます。それらをそのままの形で残そうとする動きもありますが、「永遠に変わらないものはない」ことを心に留め、時にはその変化を楽しむことも良いかもしれないと思えました。

私は、保健体育で「性のあり方」について探求しました。その際、今まで、戸籍の性・からだの性という表面的なもので自分や周囲にボーダーを引いていたことに気づかされました。

探求のまず初めに「性は主に『性自認』、性的指向、からだの性の三つの要素の組み合わせによって、一人ひとりの性が出来上がっている」ということを知りました。そこで、「一生のうちに、性の要素が変化していったり、複数持っていたりして当然だよな」と、素直に思うことができました。以前、自分がメンズものの服に憧れたとき、少し抵抗感がありました。また、ネイルやメイクをする男性にも、似た気持ちを抱いて





いました。しかし、今回の知識が自分や周囲の気持ちを素直に受けとめるきっかけになったり、憲法など、社会を性的視点から見る機会が増えたりしました。

これは仏教の「知恵と慈悲」に通じるものだと考えます。配慮や優しさの前には、それらを想像するための知識が必要です。学びの場が平等に設けられることで、より多くの人々が、周囲、そして自分を受けとめ、優しくする機会につながるのではないかと思います。



○ののは
・高校1年生

みなさんには苦手な科目がある、もしくはありましたか？ 私は今

のところ「歴史総合」があまり得意ではありません。最近では、「アメリカ独立革命」についての授業で、この革命的「光と影」について調べるといふ課題が出ました。あまり知識がなかったため

「影」について調べていると、「黒人奴隷制」に辿り着きました。この時の黒人奴隷制により黒人たちを「搾取」するシステムがアメリカで定着してしまい、「黒人差別」へと発展してしまっただけです。この影響は近年にまで及んでいて、「Black Lives Matter」運動についてもよく耳にしますよね。そしてこれは、SDGsの10番「人や国の不平等をなくそう」とも繋がります。二〇〇年以上も前の出来事が現代にまで繋がっている驚き

と、二〇〇年を経ても解決されない難しさを実感しました。

苦手だから調べていたことが社会課題に繋がっていた、という今回の体験は、「自分の苦手科目も新しい学びにつながるかもしれない」ことを教えてくれました。そして今回、「てらスクール」というメディアを通して発信することでも、自分が苦手なことも、責任を持って正しく知る・伝える必要があるということも学びました。

●「SDGs for School x 曹洞禅」バックナンバー

過去3年間の連載記事から、最新記事まですべて閲覧できます！

